

# 女子高校生のおしゃれに対する危険意識に関する研究

D07-4002 浅井 なつみ  
指導教員 朝倉 隆司

キーワード：おしゃれ、健康被害、危険意識

## 1. はじめに

ここ数年、都内の消費生活センターに報告された危害情報の内、10歳代が化粧品による皮膚障害を受けた割合は上昇を続け、平成17年度以降その他の年代を上回っている。また、ある調査では首都圏に在住する女子高校生の約4割が、現在化粧をしている。このように、おしゃれの低年齢化が進んでいると言われる現代において、女子高校生がおしゃれによる健康被害を受ける可能性は高まってきていると言える。これまで、高校生を対象としたおしゃれの危険意識に関する調査がなかったため、本研究は、女子高校生がどのくらいおしゃれやおしゃれによる健康被害を経験し、おしゃれへの危険を認知しているのか、また、おしゃれへの危険意識に関連する要因は何かを検討した。

## 2. 研究方法

- 1) 調査期間と調査対象：平成22年11月から12月にかけて、東京都内の公立高校に在籍する全学年の女子生徒に自記式質問紙調査を行った。総配布数は437で、回収数は418(95.7%)であった。学年別にみると、1年生150名(36.0%)、2年生135名(32.4%)、3年生132名(31.7%)であった。
- 2) 分析方法：おしゃれとの関わりに関する項目は度数分布を観察した。おしゃれへの危険意識をアメリカ合衆国のNational Research Council(1989)による定義に従い、被害の重大性とその生起確率という2つの異なる認知から構成されるものと考え「おしゃれの危険性」と「おしゃれによる被害可能性」に分けて質問し、分析に用いた。また、おしゃれへの危険意識の要因を明らかにするため、基本属性や経験、意識などの6項目と統計的な関連を検討した。

## 3. 結果と考察

今までに経験したことがあるおしゃれは、418人中金属製のアクセサリ-80.9%、ビューラー65.8%、化粧品(基礎化粧品を除く)56.0%、アイプチ23.4%、染髪18.9%、ピアス7.4%、髪の脱色4.8%であった。金属製のアクセサリ-が最も多く、全体の約8割の生徒が経験しており、化粧品(基礎化粧品を除く)やビューラーは全体の半数以上の生徒が経験していた。今までおしゃれに興味をわいたことがないと回答した人は9.1%であり、全体の約9割がおしゃれに興味を持っていた。今までにおしゃれの経験がある人がおしゃれによる健康被害を経験した割合は、ピアス45.2%、化粧品(基礎化粧品を除く)40.6%、アイメイク35.7%、金属製のアクセサリ-15.7%、染髪・脱色11.4%、ビューラー4.0%で、ピアスや化粧品(基礎化粧品を除く)、アイメイクの被害発生率が高く、経験者の2~3人に1人は被害を受けている。化粧品(基礎化粧品を除く)について、被害を受けた人は経験者の半数であり、女子高校生にとって化粧品(基礎化粧品を除く)は被害を受ける可能性が高いおしゃれであることが示された。

「おしゃれの危険性」と「おしゃれの被害可能性」を得点化し、「学年」と「興味を持った年代」は一元配置分析、「実施経験」、「卒業後にやりたいか」はt検定を用いて平均値の比較を行い、「目的意識」、「有用性」は相関係数により関連を検討した。その結果、おしゃれの危険性の得点は、染髪・金属製のアクセサリ-・化粧品(基礎化粧品を除く)・ビューラー・アイメイクの経験がある人、卒業後にピアス・染髪をしたいと考えている人で平均値は有意に低かった。また、目的を「身だしなみ」と考えているか、有用性を「綺麗になる」・「女性の魅力」・「身だしなみ」と考えているかと正の相関関係がみられたが、相関係数は.104(p<0.5)、.168(p<0.1)、.152(p<0.1)、.122(p<0.5)であり、極めて弱い相関だった。おしゃれの被害可能性の得点は、染髪・金属製のアクセサリ-の経験がある人で有意に平均値が低かった。目的を「身だしなみ」と考えているか、有用性を「綺麗になる」・「女性の魅力」と考えているかと正の相関関係がみられたが、相関係数は.106(p<0.5)、.122(p<0.5)、.154(p<0.1)であり、極めて弱い相関だった。以上より、特に染髪や金属製のアクセサリ-を経験した人はおしゃれへの危険意識を低く捉えており、むしろ経験のない人の方が危険意識を高く捉えていることが分かった。

## 4. まとめ

女子高校生にとっておしゃれは、興味はあるものの実際に行っている人は少ない行動で、最も行われているのは金属製のアクセサリ-の着用であった。化粧品(基礎化粧品を除く)を使用している人が被害を受ける可能性は高いため、おしゃれによる健康被害を保健だよりや保健指導で取り上げ、生徒に指導する必要がある。また、おしゃれへの危険意識に関連する要因は「実施経験」と「卒業後にやりたいと思うか」で、経験がないと危険意識を高く捉え、経験があると危険意識を低く捉えている。卒業後にピアスや染髪をやりたいと思っている人は、ピアスや染髪の危険性を低く捉えている。